

校種・教科等	高等学校・保健体育	受審番号		氏名	
--------	-----------	------	--	----	--

**高等学校『保健体育科』 模擬授業課題**

(1) 日 時	令和5年〇月〇日 第〇校時 (50分)																														
(2) 場 所	2年1組教室																														
(3) 学年・学級	第2学年1組 (40名)	使用教科書	現代高等保健体育 (大修館出版)																												
(4) 単 元 名	H 体育理論 (2) 運動やスポーツの効果的な学習の仕方 (エ) 運動やスポーツの活動時の健康・安全の確保の仕方																														
(5) 指導する生徒の状況	<p><b>【既習事項】</b>          中学校では、運動やスポーツは、身体的効果や心理的効果及び社会性を高める効果が期待できること、運動やスポーツには、特有の技術があり、運動の課題を合理的に解決するための一定の方法があること、運動やスポーツを行う際は、健康安全に留意する必要があることなどについて学習済みである。高校では、入学年次に(1)スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についてを学習済み。</p> <p><b>【単元のねらい】</b>          ア 運動やスポーツの効果的な学習の仕方について理解することができるようにする。          (7) 運動やスポーツの技能と体力は、相互に関連していること。また、期待する成果に応じた技能や体力の高め方があること。さらに、過度な負荷や長期的な酷使は、けがや疾病の原因になる可能性があることについて、理解することができるようにする。          (イ) 運動やスポーツの技術は、学習を通して技能として発揮できるようにすること。また、技術の種類に応じた学習の仕方があること。現代スポーツの技術や戦術、ルールは、用具の改良やメディアの発達に伴い変わり続けていることについて、理解することができるようにする。          (ウ) 運動やスポーツの技能の上達過程にはいくつかの段階があり、その学習の段階に応じた練習方法や運動観察の方法、課題の設定方法などがあること。また、これらの獲得には一定の期間がかかることについて、理解することができるようにする。          (エ) 運動やスポーツを行う際は、気象条件の変化など様々な危険を予見し、回避することが求められることについて、理解することができるようにする。</p> <p><b>【児童(生徒)の状況】</b>          約7割の生徒が運動部活動に加入しており、日常的に運動をしている生徒が多いが、運動に対して消極的な生徒もいる。体育の授業や部活動でケガをする生徒が多い。グループワークでは活発に意見が出し合える。</p>																														
(6) 指導計画 (全6時間)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>次(時数)</th> <th>学習内容</th> <th>活動・指導形態</th> <th>評価計画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1次 (1時間)</td> <td>2 運動やスポーツの効果的な学習の仕方 (ア) 運動やスポーツの技能と体力及びスポーツによる障害 ・スポーツにおける技能と体力</td> <td>一斉 個人 ペア</td> <td>知識</td> </tr> <tr> <td>第2次 (1時間)</td> <td>2 運動やスポーツの効果的な学習の仕方 (イ) スポーツの技術と技能及びその変化 ・スポーツにおける技術と戦術</td> <td>一斉 個人 ペア</td> <td>知識 思・判・表</td> </tr> <tr> <td>第3次 (1時間)</td> <td>2 運動やスポーツの効果的な学習の仕方 (ウ) 運動やスポーツの技能の上達過程 ・技能の上達過程と練習</td> <td>一斉 個人 ペア</td> <td>知識 態度</td> </tr> <tr> <td>第4次 (1時間)</td> <td>2 運動やスポーツの効果的な学習の仕方 (ウ) 運動やスポーツの技能の上達過程 ・効果的な動きのメカニズム</td> <td>一斉 グループ</td> <td>知識</td> </tr> <tr> <td>第5次 (1時間)</td> <td>2 運動やスポーツの効果的な学習の仕方 (ウ) 運動やスポーツの技能の上達過程 ・体力トレーニング</td> <td>一斉 グループ</td> <td>知識 態度</td> </tr> <tr> <td>第6次 (1時間) &lt;本時&gt;</td> <td>2 運動やスポーツの効果的な学習の仕方 (エ) 運動やスポーツの活動時の健康・安全の確保の仕方 ・運動やスポーツでの安全の確保 P176~179</td> <td>一斉 個人 グループ</td> <td>知識 思・判・表</td> </tr> </tbody> </table>			次(時数)	学習内容	活動・指導形態	評価計画	第1次 (1時間)	2 運動やスポーツの効果的な学習の仕方 (ア) 運動やスポーツの技能と体力及びスポーツによる障害 ・スポーツにおける技能と体力	一斉 個人 ペア	知識	第2次 (1時間)	2 運動やスポーツの効果的な学習の仕方 (イ) スポーツの技術と技能及びその変化 ・スポーツにおける技術と戦術	一斉 個人 ペア	知識 思・判・表	第3次 (1時間)	2 運動やスポーツの効果的な学習の仕方 (ウ) 運動やスポーツの技能の上達過程 ・技能の上達過程と練習	一斉 個人 ペア	知識 態度	第4次 (1時間)	2 運動やスポーツの効果的な学習の仕方 (ウ) 運動やスポーツの技能の上達過程 ・効果的な動きのメカニズム	一斉 グループ	知識	第5次 (1時間)	2 運動やスポーツの効果的な学習の仕方 (ウ) 運動やスポーツの技能の上達過程 ・体力トレーニング	一斉 グループ	知識 態度	第6次 (1時間) <本時>	2 運動やスポーツの効果的な学習の仕方 (エ) 運動やスポーツの活動時の健康・安全の確保の仕方 ・運動やスポーツでの安全の確保 P176~179	一斉 個人 グループ	知識 思・判・表
次(時数)	学習内容	活動・指導形態	評価計画																												
第1次 (1時間)	2 運動やスポーツの効果的な学習の仕方 (ア) 運動やスポーツの技能と体力及びスポーツによる障害 ・スポーツにおける技能と体力	一斉 個人 ペア	知識																												
第2次 (1時間)	2 運動やスポーツの効果的な学習の仕方 (イ) スポーツの技術と技能及びその変化 ・スポーツにおける技術と戦術	一斉 個人 ペア	知識 思・判・表																												
第3次 (1時間)	2 運動やスポーツの効果的な学習の仕方 (ウ) 運動やスポーツの技能の上達過程 ・技能の上達過程と練習	一斉 個人 ペア	知識 態度																												
第4次 (1時間)	2 運動やスポーツの効果的な学習の仕方 (ウ) 運動やスポーツの技能の上達過程 ・効果的な動きのメカニズム	一斉 グループ	知識																												
第5次 (1時間)	2 運動やスポーツの効果的な学習の仕方 (ウ) 運動やスポーツの技能の上達過程 ・体力トレーニング	一斉 グループ	知識 態度																												
第6次 (1時間) <本時>	2 運動やスポーツの効果的な学習の仕方 (エ) 運動やスポーツの活動時の健康・安全の確保の仕方 ・運動やスポーツでの安全の確保 P176~179	一斉 個人 グループ	知識 思・判・表																												

●面接終了後、メモ用紙とともにクリアファイルに入れて提出してください。

06

校種・教科等	高等学校・ 保健体育	受審番号		氏名	
--------	---------------	------	--	----	--

高等学校『保健体育科』 模擬授業課題

- (1) 日 時 令和5年〇月〇日 第〇校時 (50分)  
 (2) 場 所 1年1組教室  
 (3) 学年・学級 第1学年1組 (40名) 使用教科書 現代高等保健体育 (大修館出版)

- (4) 単 元 名 現代社会と健康 (ウ) 生活習慣病などの予防と回復

- (5) 指導する生徒の状況

【既習事項】

中学校では、健康な生活と疾病の予防について理解を深め、生活習慣病などの予防や健康の保持増進や疾病の予防のための個人や社会の取組について学習している。また、健康な生活と疾病の予防について、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断するとともに、それらを表現することについても学習している。

【単元のねらい】

- ・健康の保持増進と生活習慣病などの予防と回復には、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活の実践や疾病の早期発見、及び社会的な対策が必要であることについて、理解することができるようにする。
- ・生活習慣病などの予防と回復について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現することができるようにする。

【児童（生徒）の状況】

授業では活発に意見が出される反面、自己表現が苦手な生徒も複数おり、発言は一部の生徒に偏っている。事前アンケートでは、基本的な生活習慣が身に付いている生徒は約7割であった。運動部活動への加入は半数であり、日常的に運動する生徒とそうでない生徒の二極化が見られる。

- (6) 指導計画 (全4時間)

次 (時数)	学習内容	活動・指導形態	評価計画	
第1次 (1時間)	(ウ) 生活習慣病などの予防と回復 ・生活習慣病の予防と回復	一斉 個人 ペア	知識	
第2次 (1時間) <本時>	(ウ) 生活習慣病などの予防と回復 ・がんの原因と予防 P14~15	一斉 個人 グループ	知識 思・判・表	
第3次 (2時間)	(ウ) 生活習慣病などの予防と回復 ・がんの治療と回復 (1)	一斉 個人 グループ	知識	態度
	(ウ) 生活習慣病などの予防と回復 ・がんの治療と回復 (2)	グループ	知識 思・判・表	

●面接終了後、メモ用紙とともにクリアファイルに入れて提出してください。

校種・教科等	高等学校・保健体育	受審番号		氏名	
--------	-----------	------	--	----	--

高等学校『保健体育科』 模擬授業課題

(1)	日 時	令和5年〇月〇日 第〇校時 (50分)		
(2)	場 所	1年1組教室		
(3)	学年・学級	第1学年1組 (40名) 使用教科書 現代高等保健体育 (大修館出版)		
(4)	単 元 名	現代社会と健康 (オ) 精神疾患の予防と回復 ①精神疾患への対処		
(5)	指導する生徒の状況			
	【既習事項】	中学校では、健康な生活と疾病の予防について理解を深め、生活習慣病などの予防や健康の保持増進や疾病の予防のための個人や社会の取組について学習している。また、健康な生活と疾病の予防について、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断するとともに、それらを表現することについても学習している。		
	【単元のねらい】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・精神疾患の予防と回復には、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活を実践するとともに、心身の不調に気付くことが重要であり、疾病の早期発見及び社会的な対策が必要であることについて、理解することができるようにする。</li> <li>・精神疾患の予防と回復について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現することができるようにする。</li> </ul>		
	【児童（生徒）の状況】	授業では活発に意見が出される反面、自己表現が苦手な生徒も複数おり、発言は一部の生徒に偏っている。事前アンケートでは、基本的な生活習慣が身に付いている生徒は約6割であった。また、約8割の生徒が日常生活でストレスを感じている状況であった。		
(6)	指導計画 (全5時間)			
	次 (時数)	学習内容	活動・指導形態	評価計画
	第1次 (2時間)	(オ) 精神疾患の予防と回復 ⑦精神疾患の特徴 ・精神疾患の特徴 (1)	一斉 個人 ペア	知識
		(オ) 精神疾患の予防と回復 ⑦精神疾患の特徴 ・精神疾患の特徴 (2)	個人 ペア	知識 思・判・表
	第2次 (3時間) <本時>	(オ) 精神疾患の予防と回復 ①精神疾患への対処 ・精神疾患の予防 P38~39	一斉 個人 グループ	知識
		(オ) 精神疾患の予防と回復 ①精神疾患への対処 ・精神疾患からの回復 (1)	個人 グループ	知識 態度
		(オ) 精神疾患の予防と回復 ①精神疾患への対処 ・精神疾患からの回復 (2)	グループ	知識 思・判・表

●面接終了後、メモ用紙とともにクリアファイルに入れて提出してください。